

剣淵町と株式会社マキテックの共同記者会見を開催「剣淵町の活性化のために」



5月1日、役場において、剣淵町と株式会社マキテックの共同記者会見が行われました。この会見では、株式会社マキテックが剣淵町で今後進める事業構想について報道機関に説明しました。

株式会社マキテックの大西晃弘副社長は、2020年に閉鎖された桜岡パークゴルフ場高台コース（東町）の跡地を活用し、ワイン事業を展開する計画を明らかにしました。具体的には、ブドウ畑を整備し、町内にワイナリーを建設することを検討しています。

大西副社長は会見で、事業の実現する可能性や内容について、「北海道で山林を保護することで、マキテックが排出する二酸化炭素を削減するとともに、剣淵町の魅力発信のお手伝いができればと思います。」と述べました。早坂町長は、「このような企業が剣淵に関心を持ってくださり、ありがたいです。町としても活性化のためにできることを支援していきたいです。」と構想への決意を述べました。

共同記者会見には、ワイナリー事業のアドバイザーとして愛知県内で2か所のワイナリーやレストランを経営している株式会社ブルーチップの馬場憲之代表取締役も出席し、「全国から剣淵町に飲みに来てくれるようなワインづくりをしていきたい。」と述べました。

【交流が始まったきっかけ】

約40年前に町内に約2ヘクタールの土地を取得したことが始まり。昨年、間伐材を建築材料に利用する目的でその周囲を拡張し、約100ヘクタールの土地を追加取得したことで、町との交流が深まりました。

【株式会社マキテックとは？】

創業79年の株式会社マキテック（本社・愛知県名古屋市）は搬送設備のベルトコンベア製造メーカーです。グループ会社では建設業、介護製品製造、飲料水の製造販売などを行っています。

体育館の利用者数（人口比率）が全国3位となり 公益財団法人B & G財団から表彰

4月17日、砂川市地域交流センターゆうにおいて、北海道B & G地域海洋センター連絡協議会総会が開催されました。

総会の中で、剣淵町のB & G海洋センター（体育館）の利用者数（令和6年度）が、人口比率で全国第3位の1万4,710人となり表彰を受けました。

表彰を受けた早坂町長は、「このような賞をいただけて大変光栄です。これからも町民の皆さんに体育館を利用していただけるよう努めたいです。」と感謝の言葉と今後の抱負を述べました。





北ひびき農業協同組合から学校給食食材の贈呈

4月16日、応接室において、北ひびき農業協同組合から学校給食食材（ななつぼし 50kg）の寄贈がありました。

寄贈を受けた早坂町長は、「貴重な食材を寄贈いただき、ありがとうございます。大切に使用させていただきます。」と感謝の言葉を述べました。寄贈された食材は、学校給食で使用されています。



新たに就業した佐川真優さん、菅野真史さんに就業奨励金を贈呈

4月28日及び5月12日に、応接室において、剣淵町中小企業等UIJターン者就業奨励金目録贈呈式が行われました。贈呈されたのは、剣淵西原学園に就業した佐川真優さんと、株式会社森武農園に就業した菅野真史さんです。

早坂町長は、「慣れない土地で大変だと思いますが、一生懸命頑張ってください。」と激励の言葉を述べられました。



全町一斉春のクリーン作戦を実施

5月3日、剣淵町内において、全町一斉春のクリーン作戦が実施されました。

この取組は、剣淵町公民館事務局が主催となっていて行われているもので、悪天候により当初予定されていた4月29日から延期となりましたが、827名の方がクリーン作戦に参加し、自宅周辺や道路、公共用地などの清掃を行いました。



仲町ふれあい広場で春まつりを開催

5月18日、仲町ふれあい広場において、春まつりが行われました。

当日は、会場に町内外から多くのお客さんが訪れ、マジックショーやチアリーディング、お菓子釣りゲームなどが行われました。ビンゴゲームでは、自治会で春まつりに来ている方も参加し、大いに賑わっていました。